

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500176
事業所名	グループホーム悠々

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	①ホームは新興住宅地に立地していることもあり、地域の行事等が限られているが、併設事業所とも連携した行事等が行われている。ホームで中学生を受け入れたり、保育園児との交流会の機会がつけられている。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	①会議を定期的に開催しており、地域包括支援センター職員の出席も得られている。 ②会議は併設事業所との合同で行われており、それぞれの報告を行いながら、事業所全体の現状を知ってもらう機会としている。また、ホームから働きかけ、家族には交代で参加してもらるように案内を行っている。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	①、②法人の代表者が市の活動に積極的に参加したり、委員会の委員等を務めており、情報交換にもつなげている。また、区内の事業者連絡会にはホームからも職員も参加しており、情報交換等の機会としている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	①ホームでは、毎月の行事の案内を行っており、家族の参加が得られ、家族間の交流に取り組んでいる。 ②事業所の玄関に意見箱を設置しており、意見や要望等の把握に取り組んでいる。 ③毎月の便りには、担当者より利用者毎の状況報告が行われている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	—	—	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。